錦窠魚譜

古部

7
17
98
別圖
別11
11
(32)
国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号　寄別11-11
ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11

ガラス使用

錦窠魚譜

錦窠伊藤圭介先生遺稿

古部

昭和十年十月吉日

孫 伊藤篤太郎謹理

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号　寄別11-11

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11

ガラス使用

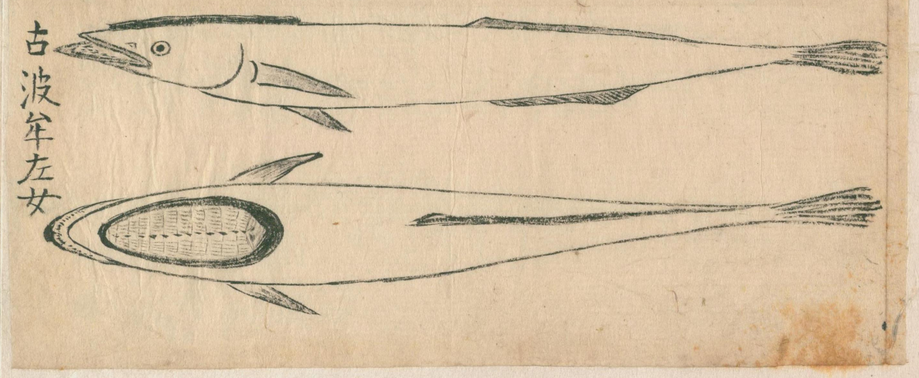
印魚

印魚長一尺三寸額上四方如印有字諸大魚應死者先以印封之出酉陽雜俎

コバンザメ

博物異苑

古波牟左女



国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11

ガラス使用

水谷豊文翁自筆寫生

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号　寄別11-11

ガラス使用

ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号　寄別11-11

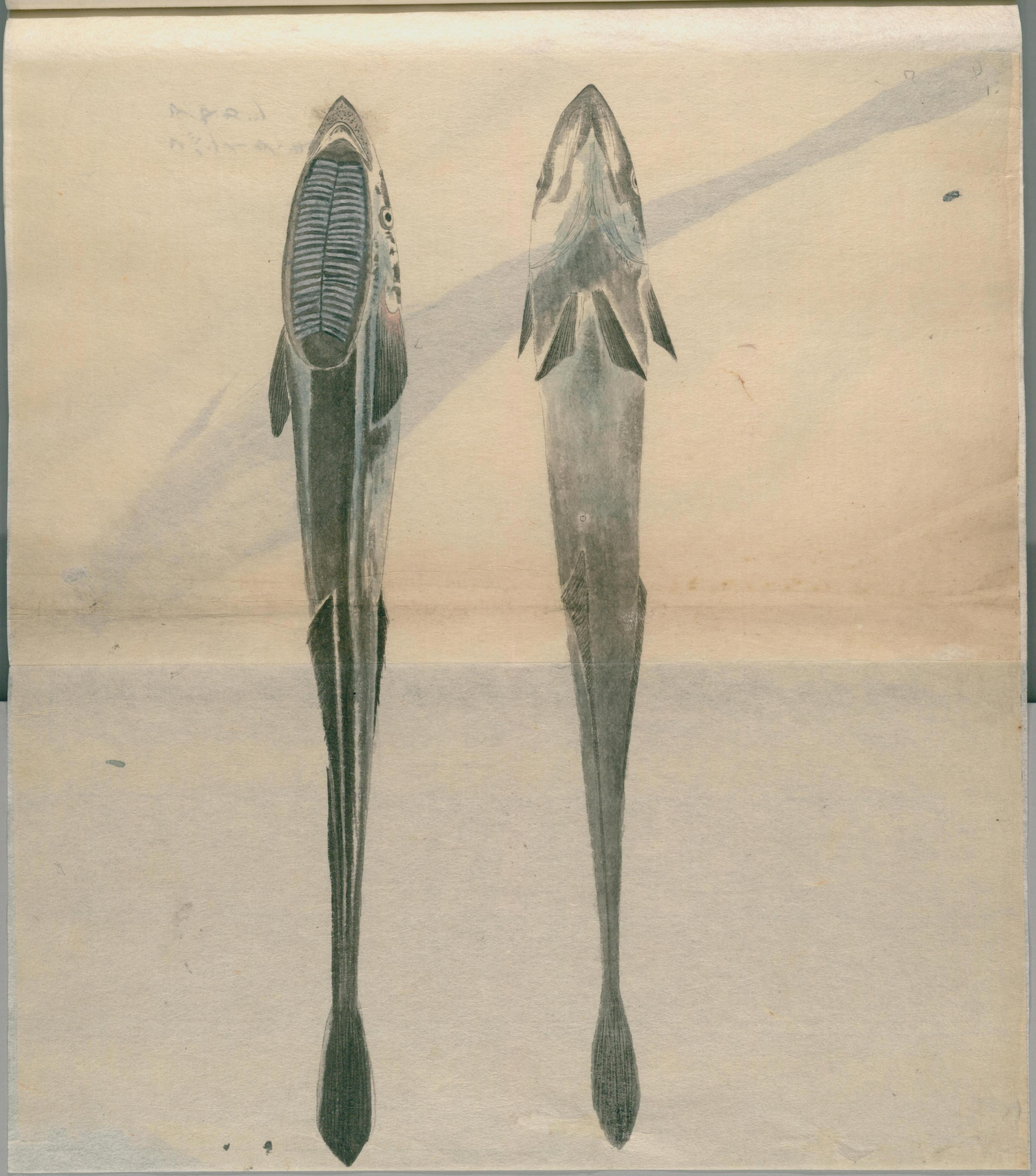
コバンザメ

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』 請求記号 寄別11-11

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』 請求記号 寄別11-11

ガラス使用



ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号　寄別11-11

アヤカシ
コバンイタヽキ

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11

ガラス使用

ユバンザメ

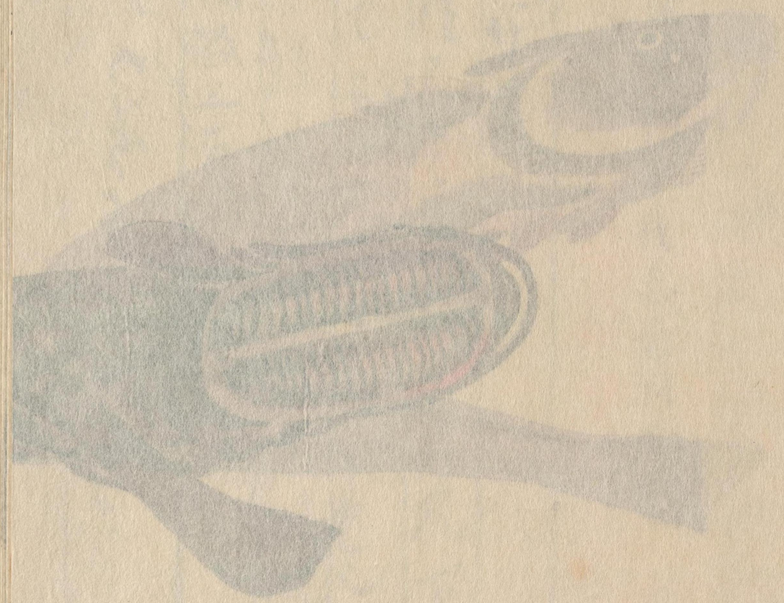
国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』 請求記号 寄別11-11

ガラス使用

コバンサメ

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』 請求記号 寄別11-11

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号　寄別11-11

ガラス使用

コバンサメ

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11

ガラス使用

小判鮫 小者四五尺大三四間頭上有飯櫃形物其上有象
如判金之象此吹潮處也海人曰能噉人今按西海與
稱船留又阿也佳志者同物乎

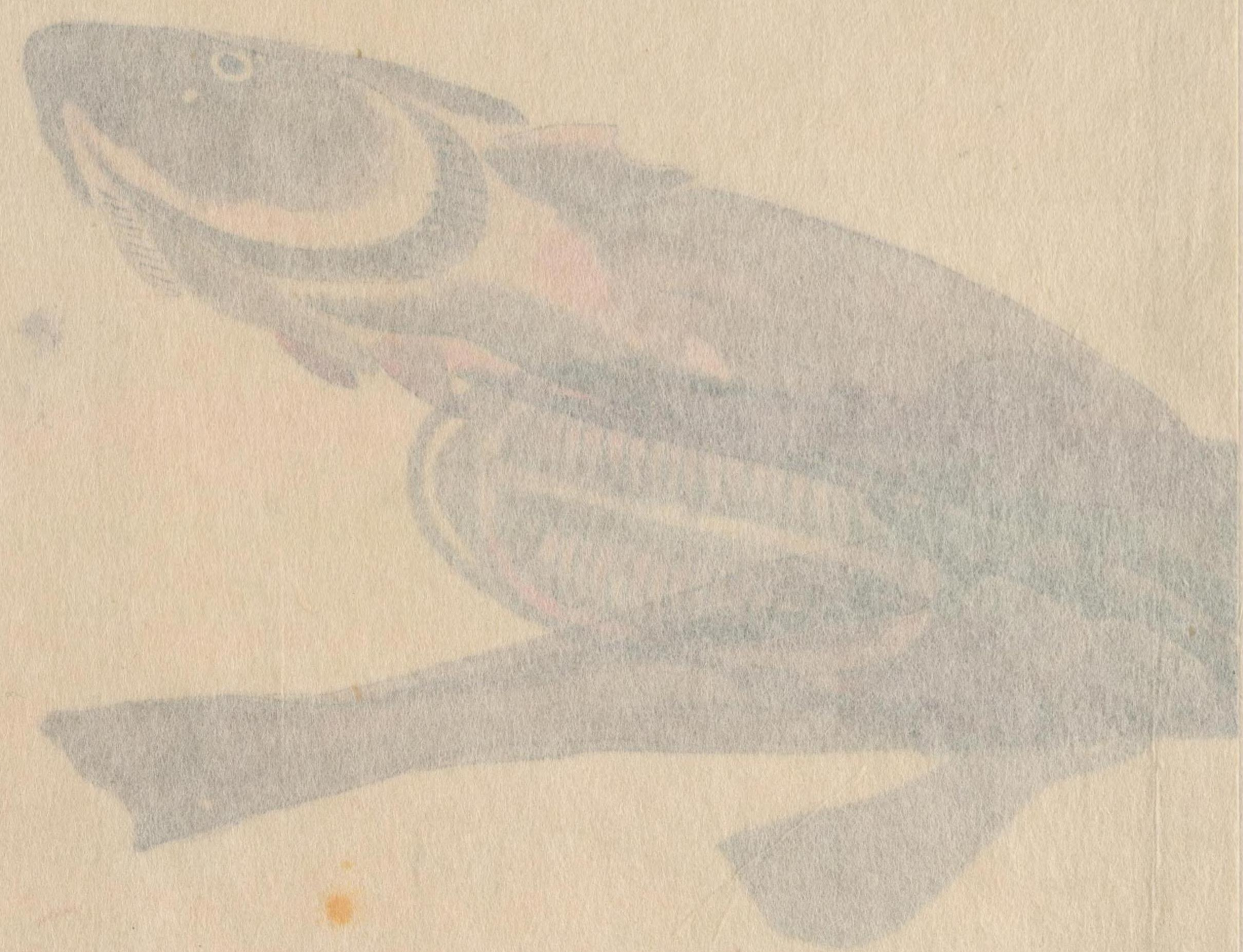
俺鱼字分

コ十二

コバンザメ
二種アリ 一ハ背ニ五所凡下ノ半身ハラ腹 [illegible]
緑色 上半身ハ淡黒色ニテ肌ニ縮[illegible] 背ヨリ其ノ背ノ形ニ
ウシロハ鰭 [illegible] ノ気味 但指ニアリ [illegible]
背ニ板三有回旋ス [illegible] 図アリ 鯢ニホソク斑アリ

コバンザメ

羅甸 Echeneis remora ト記セリ



国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11

ガラス使用

水戸方ニツケノカミノ新十郎

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』 請求記号 寄別11-11

ガラス使用

コバンザメ

アヤカシ　又小判魚

漢名印魚　東物紺珠　西陽雜俎

坤輿圖二八咽機多トアリ

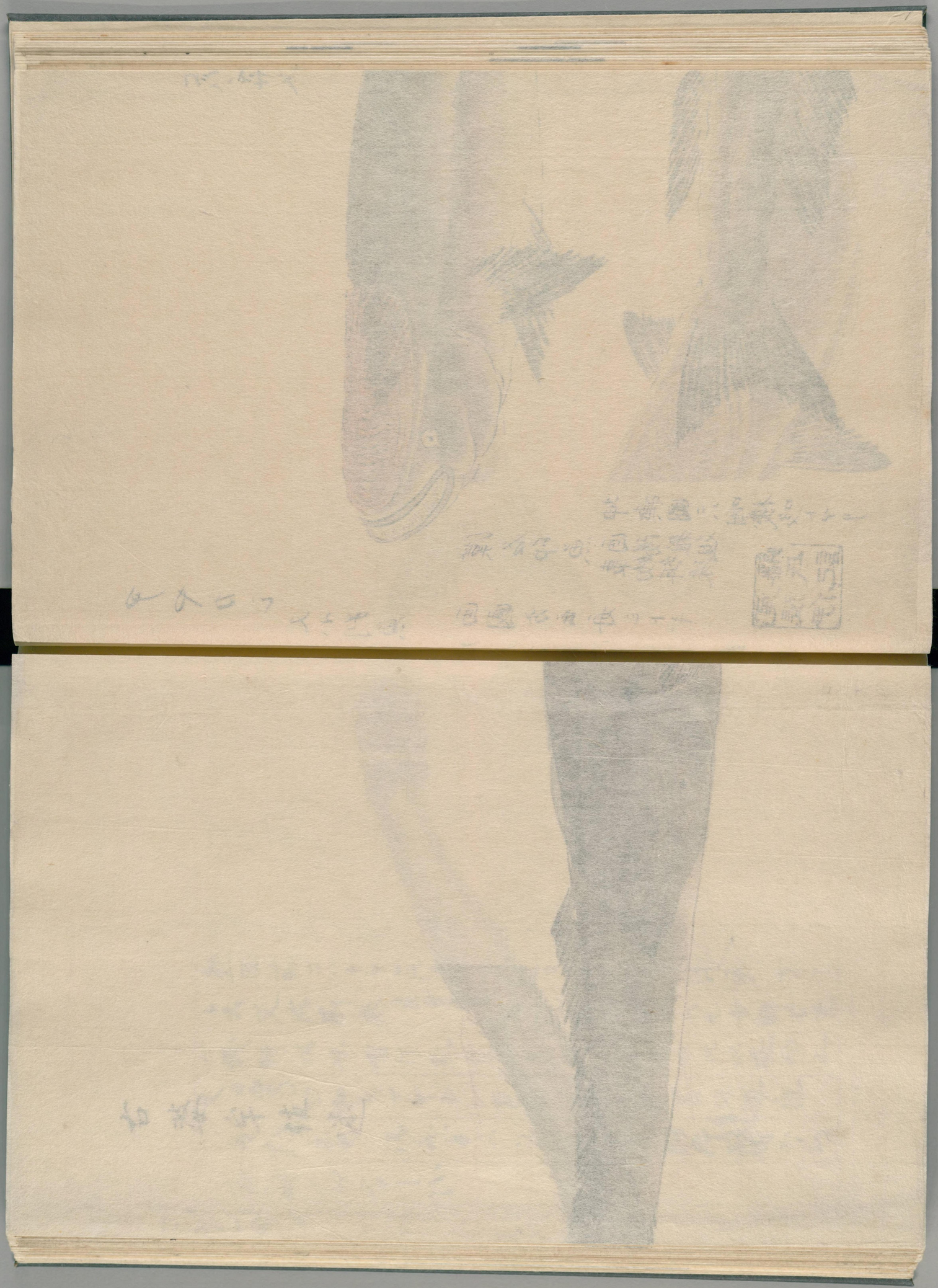
水戸方名ツケノカミノ新十郎

西國方云舟シトギ

尾張伊藤氏記

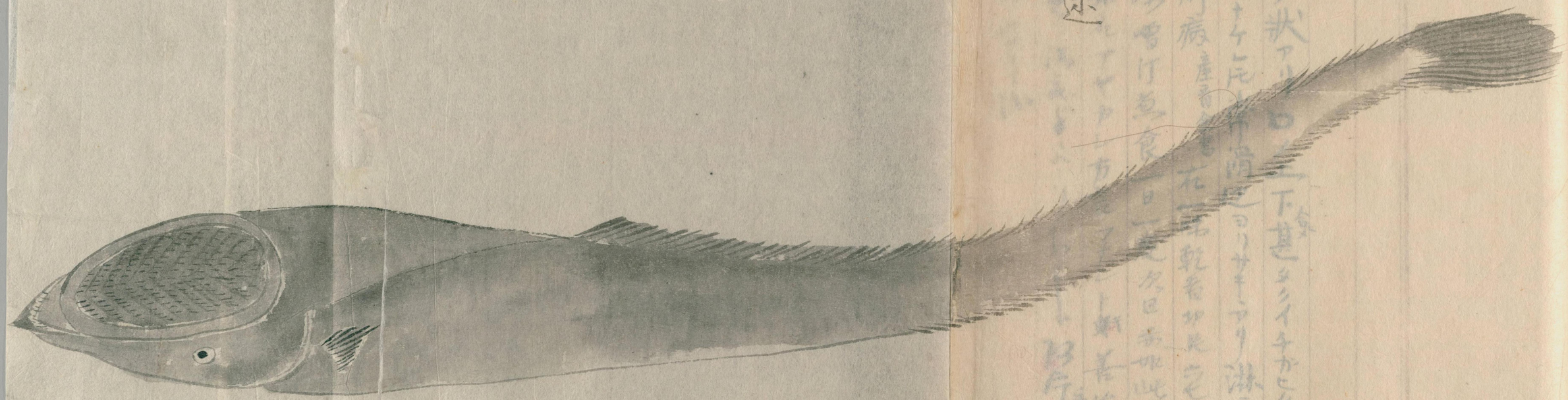
国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11

ガラス使用



ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』請求記号 寄別11-11

古婆牟佐迷



国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11

ガラス使用

コバンザメ

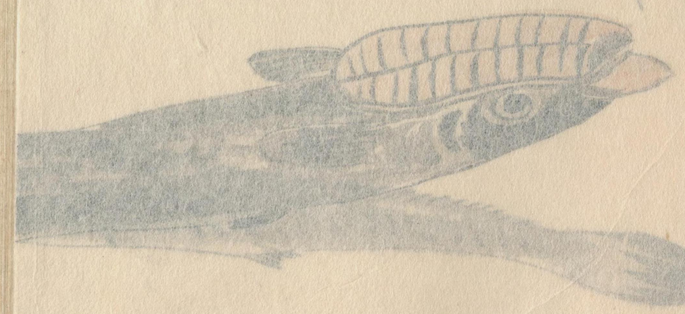
脊ニ小判ノ状アリ口ノ上下甚（歛）タシイチガヒタルモノナリ
熱田前ニハナケレ氏常滑辺ヨリサキニアリ淋疾ノ薬ナリ
ト云又治痢疾 産育全書 右一味乾者切片亦毎鮮者重
一銭許以味噌汁煮食一日一度次日亦如此以痊而止
又 百品考 曰和名アヤカレ方言フナシト 善治難産
ニ誤来ニ浅妄ずよと入しいれこし 江戸 書林 […]
麻酔ノ印みかしい

コバンザメ

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11

ガラス使用

印魚 海鳥逸志
コバンザメ スナシントキ
アヤロシ



国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』 請求記号 寄別11-11

ガラス使用

印魚　海嶌逸志
コバンザメ　又フナシトギ
アヤカシ

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号　寄別11-11

ガラス使用

コバンザメ

印魚集說　大槻磐水著（茂質）（蘭畹摘芳第三編未刊巻之八抄録）

○印魚集說

蓉斯東（ヨンストニス）私魚譜所載列木蠟（レモラ）圖

列木蠟　一名噎叔涅乙斯（エケヲイスレ）

按ニ「レモラ」ハ我方古来所謂アヤカシナリ頭頂ニ小判金ノ象アルヲ以テ小判魚トモ呼フナリ　舩底ニ貼テハ必ス覆スト云フモノ是ナリ　漢人説ノ所ノ印魚又鄭魚ナルヘキカト

イフホタ當否ヲ知ラス　利瑪竇坤輿萬国圖云咽機那魚長尺許周身皆刺而有大力着貼舩後雖順風不能動ト説ケルハアヤカシノ類ナルヘシトイフ又アリ　但説ノ所相似テ其名ト形狀トヲ以テハ切當スヘカラス　而ルニ頃噤乙都人名ノ書ヲ閲スルニ噎叔涅乙斯ノ名アリ　茂質因テ攷フルニ咽機那ハ即噎叔涅乙斯ノ轉ナルヘシ　一聲ノ轉ナルヘシ　カレハ明人音譯名是ニメ和名アヤカシ西洋原名ハ列木蠟ナルヿ疑ナシ　列木蠟ハ容斯東斯人名圖説アリ嚏乙都兮勃涅盧及列墨列乙斯削墨盧六士ノ書説アリ今先ツ兮勃涅盧ノ約説ヲ

取テ訳スルヿ左ノ如シ茂貿従表其ころノ話説ヲ聞テ未メ真物ヲ見ズ近日文化幾個ノ年ナリシ欤一日疾風暴雨アリシカ其烈キ風雨ノ為メニ此魚吹キ揚テレシニヤ芝新橋ノ邊ニ落下リシテアリ如何ナル所以ト云フハ知ラザレモ其物ハ小判鮫ナリ其時或寓真ノ其図ヲ余ニ示サレタリ因テ始テ真形ヲハ見タルヿアリキ今コレヲ容斯東斯ノ図状スル所ニ校スレハ全ク能相似タリ物産好事家ハ乾腊セルモノヲ藏シテ和蘭船来茶水ニ漬スル物ヲ貯フル者モアリ谷川淡斎アヤカシノ考説アリ添芝陽紀聞ノ随筆アリ此ヲ閲スレバ其事件譯説ト符合スル者多シ後ニ附メ考證トナス余モ亦仕ヨリ彼船年慶ノ譜物ニテアヤカシノ名ヲ聞テ其船底ニ着貼スルノ所由ニ至リテハ未メ詳テ知ラサル所他モ亦辨セサル所ナレ既ニ西士噐乙都ノ如キモ其偶ニ行舟ヲ停住スルヿハ此魚ノ所為ニ非ズ妄談ノ説ナリトス コレ未タ辨究セズメ云ヘリ余コレヲ讀テ譯ヲ作ストイヘ凡コニ而テ證トスベカラザレバ姑ク擧ケス他ノ西書中ニハ形状大小種類等ヲ始トメ詳審ノ諸説アリ余カ本務ノ遑キ及ハサル此餘ノ説ハ後ノ訳者ヲ竢ツモノナリ

勃涅盧（ブヨル）撰書六百八十四號曰列木蜚ハ洋中駛（ハシ）ケテ走ル舩ヲ停住スル一小魚ノ名ナリ其軀ノ大サ大約コロートセイゴロンリンノ魚大サアリ其尾モ亦能相似タリ但其首ハ幅稍濶ク頭項ヨリ背ノ中部ニ至ルマテ軟骨状ノ一種ノ肉ヲ堆起スルヿ殆ント

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号　寄別11-11
ガラス使用

「ゴローテセイスラッケン」（海中大蝸蠃ノ義ヲ攷テ知ルベシ）圖ニ在ルモノヽ如シ其後
部ニ向テ漸ク圓ク尖レル「ヘイラミッテ」杉ノ状ヲ為ス此部ヲ以テ
能ク海巖ニ固着ス コレヲ「カムト」呼フ 按ニカムハ櫛ナリ又雞冠
ヲ、ハンチカムトイフヲ以テ考レハ亦コレ頭項ニ冠スルノ義ナリ 此物亦
其意ヲ取レルナルヘシ 其カム長圓ニシテ扁 長凡七八栂指幅五六
栂指横径アリテ厚ハ一栂指半アリ其中平面ニ小棘刺叢起シ凡
諸物ノコレニ觸ルヽモノアレハ何某ニテモ此部ヲ以テ其所ニ附
着ス此物船ニ遇フヿアレハ必ス其泊ル所ニ近ヒテ離レズコレ其
舷ヨリ海中ニ弃ル諸般汚穢ノ物及人屎等下ルヲ待チコレヲ
得テ餌食トナサンヿヲ欲メナリ天氣快晴ニシテ風少クシテ静和ノ
日船舶ノ繫泊スル𪜈ハ毎ニ其周廻ニ游泳ス若其風波ヲ得

テ泊所ヲ放ルヽカ或順風ニ任セテ迅急ニ走ル𪜈ハ其船底ニ着
貼シテ離レズ怒浪憤激ノ勢ヲ以テストイヘ𪜈コレヲ打チ離シ去
ルヿナシ又此物海中他ノ大魚ノ體中ニモ附着シテ水中ヲ往来ス
コレ自己ニ游行スルヿヲ好サルカ故ナリ彼別ニ絶テ餌ヲ求ムルニ
由ナキ時ハ常ニ其巨魚ノ體ニ負レ流レテ脱離セサルナリ
達模必乙盡トイフ人或ヘノ寰海紀行中ヨリ抄出シテ其著書ニ附
記セルノ説ニ云海中技鳥路トイフ大魚 未考 ヲ捕リ獲テ舟中
ニ挽キ入レシニ其魚體ニ此貝数箇貼着シテアリシヲ見タリト 按
此貝数頭船底ニ固着スレハ其船ニ重サヲ加ヘテ本量不等スルヲ
以テ速ニ走ントスルノ勢ヲモ遏止シ舟停住シテ進マズ即コレヲ
達模必乙盡考究スル所ニ此物十頭或十二頭附着スル𪜈ハ其

重サヲ以テ走ル船ヲ駐ムル了猶既ニ船底ニ自ラ附着スル不潔ノ物 嚩乙(ウチイツ)都曰船底ニハ必ス許多ノモツセレニ及大小貝介ノ類其它不潔ノ諸物重疊附着ス又ヘルミキユリハラニ、ヲ生出シ且コテイレダ子ス・ヲ生シコレカ為ニ其走ルヲ妨ケ進ミ難カラシムト云

其諸物譯名未考ココニイフ不潔ノ物コレヲ乍スカ

其重サヲ加フル了アルモノニ同等ヲ為スト見ユトイフ又顧フニ古来魚ノ為ニ舟俄ニ進マスト云ヒノ衆説アルハ必ス此物タル了知ラレタリ但學士輩其辨別ノ論少ナカラズトイヘ圧余若此考ヲ以テ自ラ得タリトス又爰ニ一説アリ亞弗利加洲中那答鹿トイフ地ノ海濱ニテ土人此魚ヲ獲其數匹ノ頭ト尾トヲ繩索ヲ以テ縛定シテ水底稚弱ノ群亀遊走スルノ所ニ下ス而ル片ハ此數魚乍チ其亀背ニ固着シ離レズ土人其狀(ヤウス)ヲ候(ウカヾ)ヒ一ヨリ二三ト漸ミ引キ上ケ数亀ヲ得ルトイフ

文政辛巳初秋譯草

谷川淡齋和訓禁　あ部

あやかし　俗ニ事實明白ナラサルヲあやかしナドイヘリあやかるト同義ナルニヤ○あやかる　借(アエル)ノ義ナリ靈體ノ字ナリトヨメリ心得カタシ俗ニアヤカリモノナトモイヘリ拾遺集ニ風をやミ峯のもぞものこともちれハあやかりやすき人のこころか　船辨慶ノ謠ニ此船ニハアヤカシガツイテ候トイフハ海中ニテ舟ニアヤカシトイフ魚ガツケバ必ズ覆ヘストイフ小判鮫ノ事ヲトイヘリ頭ニ小判金

ノ象アル魚ナリ坤輿萬國圖ニイフ咽機那魚ナリトモイヘリ咽機那ハ夷語ナルヘシ或ハ博山魚ノトモイヘル書ニフナシトキトイヘルモ此魚ナルヘシ舟楽ノ義ニヤ

博山魚ノ名清俗欽不審ナリ博山ハ香爐ノ名ナレハ関係セサルニ似タリ冠ノ名ニモアラハムトモ聞受ヘキコトナリ舟楽ノ下舌楽ノコヲ細注ニセサレハ見ル人辨シ難カルヘシ舌楽ノ字ハシタシトキヘ本邦ニテ漢字ヲ填ムルニヤ

茂質按ニ俗ニ事實明白ナラサルヲ アヤカシトイフトテレハ昔海中ニテ俄ニ船ノ停住スルヿアリテ進マス何ニノ所為タルヿヲ糺セスコヲ以テコレヲアヤカシノ魚トイヒシニヤ最後小判金ノ象アル魚タルヿヲ知テ小判鮫トモ呼フヿニモナリシナルヘシ鮫ノ一種ナルヤ否ハ糺セス咽機那ハ譯説中ニ出セル噎叔湿乙ノ音轉譯タルヘシト茂質カ考フル所ニ疑ヒアルマシ萬国圖ニ此魚ノ生タル所ノ頭項冠ノ事ヲ説サレヒ他物ニアラズ但有レ刺而有大力トイヘルハ牽強タルヘシ博山魚出處未タ考ヘス按ニ咽噎ナリ機ハ訛ナリ那ハ湿乙ナリ 松平芝陽幹隨筆曰薩州夜久ノ島ニ大魚ヲ產ス土人コレヲ呼テシキリトイフ其魚ノ咽中ニ探レハ小魚二個アリ冬春ノ間シキリヲ獲ル毎トニコレヲ探リ素メテ珍重ス其二小魚形キスニ似テ腹腹ハ背ナルヘシ死魚ニテハ腹背分明ナリカタキモノト數里実験メイヘリニサメアリトイヘリ乾シ貯ヘテ唐山ノ人ニ鬻キテヨキ價ヲ得コレ奇功ノ霊菜ト成ルモノナリトイフ但其二小魚何物タルヿヲ知ラズ安永酉 橘元周 隆庵後宗仙院 薩刕ノ大守ニ請フテ此小魚乾腊セルモノ二三個ヲ

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11
ガラス使用

取ヨセラレシニ大魚ノ図モ倶ニ添テ来ルコレヲ見レハ
大臭ハマンボウナリ小魚ハ小判鮫ナリ
名モ今明ヲ得タリ マンボウハ臭烈常ノ海中ニノミ産シ水戸
ヨリ致スモノナリト思ヒシニ東南ノ海ニモ有ルモノトイフ事ヲ舎得セ
リ元周此年水戸中納言殿ニ拝診ニ出ラレシ折カラ此話ヲ申出セ
ルニ公ノタマフリヽハ國元ニモ有ルナリ既ニ去ル年大ナルマンボウヲ
獲タル腹中ヨリ出タルヲ蔵セリトテ風乾シタルヒモノ二個ヲ自ラ
取出シテ元周ニ賜ヒヌ其長サ九六寸堅キ事石ノコトシトカクニマン
ボウノ胃中ニハ此魚二個ツヽ必ス有ルモノナリトカヽル事ニ就キ嘗テ
聞テル所ノ珍説アリマンボウ其餘鯨鯊ノ類スベテ大臭ノ磯ヘ
寄リ来ラントスルノ前ニハ先漁人コノ小判鮫ヲ獲ルナリコレ遠
カラス大臭来ルヘキ吉兆コレ今前駆アリトテ喜ヒ食フヿヲ敢テセズ
必ス神棚ヘ捧ケテ祭ル事ナリ一両日ノ間ニハマンボウ大ヒナル物ヲ
餘他ノ大臭洋中ニ漂ヒ浮ヒテ濱近ク流レ寄ルハ毎度ノヿナリ
コレヲ如何ニト尋ルニ大臭鰯ヲ食シトテ磯ノ方ヘ向テ来ル時小判
鮫大魚ノ吻頭ニ在テ一二匹ナル片ハ其唇ニ粘着シ或口内ヘモ入リテ
娇ヲ為メ鰯ヲ縦(ホシイマヽ)ニ食ハシメズコレニヨッテ自ラ楞腹ニテリコ
レヲ避ルニカ竭キテ斃ヲ蓄フヿ能ハズ遂ニ漂ヒ浮テ漁者ノ
為ニ獲ラルヽナリ此臭ノ頭頂ノ小判ノ形ノ如ンナルサメテ物ニ吸
付ノヿヲ好ム大臭ニハ其口ノ邊(マヽ)周ニヒタト吸ヒツキテ離レズ一匹ツヽ
ハ漸ク多ク来リテ附ク事アリ大魚ノタメニハ甚娇ヲナスモノナリ
トイヘリ漁人ハ右ニイフ如リコレニ因テ大臭ヲ獲ルヿヲ以テ大ニ貴

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11
ガラス使用

重シコレヲ称メ告ノ神ノ甚四郎トイフ人ニ託シテ云フ楼ニ臨海異物志ニ載ル
印奥コレナルベシ即曰諸大魚應死者即印奥先封之ト此物
大魚ノ病ヲソト知リテツクモノナルニヤ知ルヘカラズ能ク口邊ニ在テ
其食ヲ妨ゲ其口内ニモ入リテコレヲ困ルニメ弱ラス此ヲ印奥先封
ヒトイヒニヤ和漢符合セリ面白キコトニ九列邊ノ海ニハ長サ三四
尺ヨリ五六尺ニ至ルモノ多シ船底ヘ彼カ頂ノサメニテ粘着スレハ離レズ
一匹ツヽ支魚多ク裹リ来リテ多クツクコトアリサスレハ船重モリテ少シモ
動カズ遂ニハ沉没スルニ至ル筑前ニテハ船ヲドキトコノ奥ヲ称スルナリ
「ヒトキ」トハ粘着スルヿニテ其地ノ方言ナリ昔ヨリコレヲアヤカシト呼フナ
リ船弁慶間ヒノ狂言ノ詞ニアヤカシ付タルトイフハ船中ノ忌辞
ナル由ヲイヘリ古リ唱ヘ来ルヿ知ルベシ化此物大奥ニツケハ姑ヲ為メ其
食ヲ得セシメズ船ニツキテハコレヲ住メテ動カサセスシテ遂ニハ費没セシ
ムル形ハホナリトイヘ尤大ニ物ニ妨得ヲ為スモノナリ此物性弱ク水ヲ離シ
テモ斃カタシ甚睚氣アリ皮膚ハ粘滑味極テ美ナリトイフ又聞ク
橘元周始隆菴後号宗仙院先年筑前太守病危篤ニツキ願ニヨリテ彼
國ニ到リシ時其地ノ漁人ノ獲タリシ此生魚ヲ見タリ其頭ノ小判形ア
ル所ヲ重キ大俎ニ着ケ其尾ヲ持テ提ゲルニ奥ハ離レズメ擧カレリ
極テ重大ナル俎ナリシカモ吸ヒツイテアガリ誠ニ奇妙ナリトイヘリサスレハ
此奥大ニメ数多ノ船底ニ労ハイカニモ重クナリ沉ムベシトナリ小判鮫
ハ四國ノ方言ナリ西國ニテハ「ニシフクリン」又小判奥ト呼フ水戸ニテハ草履
鮫トイフ梭ニ小判形ノ所ヲ草履ニ見メテ然ルヘシ
梭ニ正字通鯽字下引左思呉都賦鯽亀鱠猎註云鯽魚無

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11
ガラス使用

鱗身正方如印雜組鄭長一尺三寸頰上四方如印諸大魚應死者先以印封之按魚族至褻死無定期豈必鄭魚一一印之此誕説也陳善云泉州有通應候廟其下臨海出子魚甚美世呼通應子魚者記所出也據此説則通印子魚即通應廟前之子魚非雜俎所載鄭魚明矣此説恐ラクハ鑿ナラン印ヲ以テ先封之トアルヨリ附會セルナルヘシ印ヲ落款セルニハアラデヨリ魚ノ唇邊ニ附キテ頭頂ノ印形ノ處ニテ粘着シ俗ニ云フ封ジコムルトイフ意ナランカ清鄭湛若赤雅曰知不足齋叢書印魚方額有印文類竹巢符鳴如鐘釵長尺有三寸一作本五巨魚將死以印封之予在龍門灘愛其神怪市而放之獻者勿識也負幹又按明利瑪竇坤輿萬國圖云咽機那魚長尺許周身皆刺而有大力着貼舷後雖順風不能動ト云フモノ即チ印魚ノ類ナルヘシ

茂質按本邦ハ四面環海ノ地ニノ魚族尤多シ因テ魚類ヲ審辨スルニ至リテハ支那ノ諸説ニ優レルト此魚ノ事ニ就テモ知ラレタリ右ニ譯セルノ西説ニ列水蝠帯ニ大魚ノ體ニ附テ往来ス既ニ枝烏路トイフ大魚ニ附テ漢舟ニアカリタルヲ見シトイフノ説ハコノ芝陽氏記聞中ノマンホウニ附ツヽ全リ相似タリ殊ニ我漁人ノ親ク試ル所極テ明詳ナリ枝烏路其圖説ヲ見ルニ及ハサレヒモ必右ニ類シタル巨魚タルベシ但此魚其餌食ヲ求テ常ニ泊舟ノ周匝ニ游息シ時有テ舷底ニ粘吸シ動モスレハ行舟ヲ停住スルノ實證ハ人テニメ始テコノ新譯説ニ得テ古来未決ヲ解ケリ瓊ミタル小事トイヘ𪜈理西学ノ一得トヤ

イフベシ

漢人所謂印魚或ハ此物ヲ指スノ名乎額有印文等ニ擾レハ其説詰テ詳ナラス尾印ノ名称アルニ左モアルベシ正字通鯽字ノ註文ノ如キハコレト異ルベシ陳善ニ固然リ異物志赤雅ニ所謂諸大魚應死者即印魚先封之ト説ナルハ臨海ニ流レ寄リタル巨魚ノ身ニ多リ此印魚貼着シアルヲ見テ此物ノ所為ニヤト察シタルカ対スルノ字ハ印文トイフ字ヨリ出テタルナルヘシ支那人海族ノ事ハ其疎漏ナルノミナラズ其説ヲ奇ニセントスルヿ彼文華ノ敝ノ弊ニ出ル虚設ノ誕説如斯ノ類辨駁スルニ足ラズ

小判魚

紀州ノ熊野ノ方言ナリ又小判鮫トモイフ此魚諸州海中ニ産スル國々ニテ方言数多アリ西国ニテ「コバンイタベキト云又アヤカシトイフ所後ニテ舩イトリ能州ニテ舟スイ薩州ニテ舟トリ土佐ニテ舟トメトモ云又告ノ神ノ甚四郎トモ云又シンフリントモ云水戸ニテワラシサメ又草履サメ得ル神棚ヘ上テ祝フ不日ニメ大魚ハタシテ寄リ来ル事アリト云此魚ノ頭形三角ニシテ稜アリ頭上殊更扁平ニシテ小楷金ノ状ノ如シ二十三ノ横紋アリテ細刺沙ノ如シ此所ニテ好ンテ物ニ吸ツク凡物ニ着ケハハナレズ此魚数百集リテ舩底ヘ粘着スルヿアリ然ル時ハ大舩トイヘ𪜈巨石ニ乗リカケメルカ如クニシテ吸コムカゴトクニシテ動カズ大ニ害ヲ為スモノナリ是ヲアヤカシノ舟トイフテ舟子大

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号　寄別11-11
ガラス使用

ニ懼ルトイフ遂ニハ真舩沉没スルニ至ル故ニ舟トリ舟トメノ称アリ往年福岡宗仙院同僚ダリシ時筑前國寺病苞篤ニテ彼地ニ趣シ片此魚生活ノ物ヲ親ク見タリ性健強ニシテ一昼一夜程モ水ヲハナシ置ニ疲労セズ其小判ノ形ノ所ヲ俎及掌ク重キ板ナドヘ着レバ其尾吸付テ離レズ尾ヲ取テ引立ルニ板ニ付テアカリタルヲ見テ始テ頭上ニツヨキ力アルヲ発明シ且驚嘆スト直ニ此話ヲ聞ケリ此魚惣身ニ銀光アリテサメノ如ク細沙アリシカモ滑涎至テ腥氣アリト云然レ共肉ハ性良ニシテ喰フヘシ熱湯ニユガキテ軒トナシ薄味噌ニ煮テ味淡美ナリトイフ冬ノ月ニハ偶東都魚肆ニモ持来ルアリ去年唐辰ノ冬ノ飯田町中坂ノ魚店ニ釣リテアリ長二尺許人々奇観トスト芝陽語リキ此物ニ就テサマ〴〵ノ奇話有リ薩州ノ南海琉球ノ島ニ大魚アリ真島人稀ニ網ニ得ル事アリ方言志幾里ト云其状水戸海中ニ穫ル所ノ満唐ニ異ルナシ土人ハコレヲ食ハス皆田糞ニ充ツトイフ唯二尾ノ小魚志幾里ノ喉中ニアリ或ハ口内喉嚨ノ邊ニシカト吸付ハナレズシテアリ土人コレヲ得テ甚貴重シ乾腊シテ秘蔵シ九人有病困憊垂死者ニ此肉ヲ刮リ煎服セシムレバ其病順快スト貎ニ其土人ニ問フニ曰ク此小魚神益ノ功人参ニ倅シトイフ中山及諸方ヘ高價ヲ以テ售與フトイフ漁人又云此魚形極テ小トイヘ尼大魚ノ吻邊内外ニ粘着シ自然ト精液ヲ吸尽ス故ニ大魚此物ノ付ニアヘハ精神疲労食物ノ娯トナッテ遂ニ水面ニ漂浮シ漁人ノ為ニ獲ラルニ至ルトイヘリ其二個ノ小魚ヲ薩州ノ太守取リ寄テ見ラルニ此小判サメナリ長四五寸ニシテ堅質枯木

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号　寄別11-11
ガラス使用

ノ如シ此話ヲ水府源文公（中納言治保卿）ノ郷（宗仙院申上ラレシニ國
許ノ漁人ニ浦唐ノトレタル時吻邊又ハ喉肉ニ小判ガメ付テ有ヤモ
シ付テアラバ其侭ヲ堅メテ出スヘキヨシノ命セラレタリ濱役人命ヲ傳
ヘテ吟味スルニ果メ此物アリテ口邊ニ着ルヲトリ乾テ上リタリトテ同人
見セラレ一二個ヲ分チ贈ラレシトテ予ニ見セラレタリ奇談ナレハ爰ニ
記ス予懇友芝陽去年飯田町中坂奥店ニテ親リ觀シコレ珍
奇ナリトメ予ニ語リノ時又右ノ奇話ヲ以テ演説シタリキ速ニ隨筆ニ
收入スヘシト悦ハレシ余熟ラ案ニ是唐山ノ人印奥トイフモノ即是ナルヘ
シ正字通鯽字ノ下云舊註音卽魚名身上似印按左思吳都賦
鯽龜鱉鰕註鯽魚無鱗正方如印雜俎鯽長一尺三寸頰上四方如
印諸大奥應死者印奥先封之云々又太平御覽引臨海異物志
曰印奥無鱗形鰕音錯形額上四方如印有文章諸大奥應死者
印魚先封之云々此說ヲ考レハ其頰方ニシテ額上印形アリテ文
章アルカ如シ大奥死ニ至ントスルニ印所ヲ以テ粘着メハナレス封
スルニ似タリ能ク其說ヲ得ルトイフヘシ字通ニ云魚族至衆死無
定期豈必鯽魚一々印之此誕說也トアレ共此親リ漁人ノ說
ヲ聞サレハヨリ余ハ竊ニ此古說ヲ信スルニヨリテ今コニ載テ證トシ
同好ノ士ニ示スモノナリ坤輿萬国圖ニ云有咽機那一作多魚此
奥船ニ着ケハ動カスヿヲ得ス形狀ヲ說クニ極テ粗リ取ルニ足ラズ
ト雖モ他ナシ此アヤカシナルベシ拙考ニ大奥（オテ）殊ントスルモノ此奥
好テ口吻ニツキ及口内ニムグリ入リテ精液ヲ吸フ口ニ換フルニ額上
印文ノ処ヲ用ユ譬ハ章魚ノ口ハアレ共真脚ノ瘡瘢ノ処ヲ以テ

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号　寄別11-11
ガラス使用

物ニ粘着ノ血液ヲ吸フニ同シ此魚ノ素性此処ヲ以テ粘着スルヿ
活存ノ時ハ勿論既ニ死スル者ト雖モ肉凡上ニ粘着スルヲ以テ知ルヘシ此説素トヨリ聞ル所ナリ蘭山啓蒙ニモ此ヿヲ載スキナリトナル者風乾ノ漁家茶ニモキ者刮リ黄服ノ大ニ氣血ヲ補益シ人参ノ功アリトスタトヘハ深山僻境菜ナキ所貧民臨産虚脱產難ノ患アルニ乾鹿鞭(シカノタヅ)ヲ用テ其功能ヲ較フルニ参ニ勝レリトイフニ等シカルベシ此事ハ清舒馭遠ガ女科要訣ニ見ヘタリ今ハ人家偶〻風乾(カツオ)ノ水魚ノ如ソナルヲ以テ玩物ニ供スルノミ醫人コレヲ知ラズ多ク賚フテ試用セバ意外ノ奇功アルヘキナリ以上ノ諸説余嘗テ見聞スル所ナリ普ク好事ノ人ニモ物語リスヘケレトモソレマテニモ遺憾センヿヲオモヘバ姑ク此ニ贅ス見ル人詞ノ拙キヲ以テイヤシトシテ弁ルヿナカレ只其事実奇談其趣意ヲ取ル幸ナリ此物大小ニヨリテ形色小異アリ国々ニ出産ニヨリテモ少シノ違ヒアリコレ一識ヲ博ムルノ助ニモナランカト思フノミ此故ニ諸図ヲアツメ写テ左ニ載スト云文政四歳次辛巳七月念八日法眼栗本瑞見源昌臧誌

栗澹洌ニアヤカレノ図説並ニ其考證ヲ請ヒ求ニ写真諸図トコノ詳細ノ紀聞考證ヲ贈レリ因テ益分明ニスルヿヲ得タリ真精究両士モ未タ知ラサル所アルベシ此先生物産ノ学ニ篤キ當世ニ乏カルベシ喜テ写了仲秋初二

剞劂児書レモノ條古今ノ諸説ヲ尽セリ林郎察卫ニゲルス波尔杜瓦児ニテハレモアル又ナウクラテス」ト呼フ和蘭ニテハ

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号　寄別11-11

ガラス使用

「ツイケルヒス」ト称ス黏吸魚ノ義ナリ エケイ子イスハ旧来ノ
通名ト見ユ

「印魚集説終」

鎚鯵魚

甲相豆

採藥圖記

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11

ガラス使用

鈿錘魚

甲相豆
採藥圖記

宇那太

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11

ガラス使用

ブツコ

ゴツコ

松前回宗源廣長著 松前志

コレ方俗ノ詞ナリ或コレヲ福魚トス 鰊ニサキダチテ出ルカ故ナリ或人
云武次辺ニテコレヲ一分魚トヨシ如何アランヤ夷方アカムコツチムト云リ
松下品ノ魚ナリ

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号　寄別11-11

ガラス使用

コブダイ

紫色ノ身白ノキレイ
ニテ至テカロキモノノアヲダイ
トハ別ノアマダイハ小ブリナル
モノニテ大ナルハナシ

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』 請求記号 寄別11-11

ガラス使用

コブダヒノ類

此魚赤紫色
コブダヒノ類

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11

ガラス使用

コブダヒ

此魚白キコトキンギョニ一種白キモノアリソノイロノ如シコブダヒノ類ナルベシ

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号　寄別11-11

ガラス使用

土州方言
琴引ウヲ
其鳴声琴音
ノ如シト云

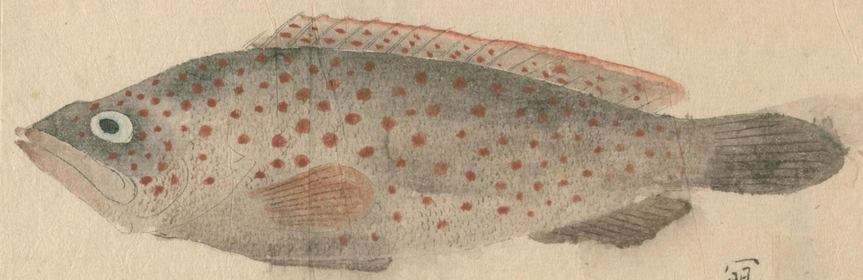
コトヒキウヲ

伊藤篤太郎按 伊豆伊東淨ノ池ニ棲ム
チニナラ Therapon ser=
=rus 殆ト同種

コノ四一

ゴアユナメ

コアイナメ



明治十六年尾張名古屋

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11

ガラス使用

崔巣庵吉田平九郎圖

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号　寄別11-11

ガラス使用

杜父魚 郷名カジカ頭大ニ身小ナリ大者六七寸秋ニ至テ
鳴故ニ河鹿ノ名アリ嘗テ修善寺ニ遊テ其声ヲ聞ク蛙
鳴ノ如シ幽趣アリ石ニ取リ首ヲ出メ鳴ク此魚種類数
多ク言ヒ尽シ難シ
ゴリ

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号　寄別11-11

ガラス使用

ゴリ カジカ

○黄顙魚カジカ　黄鱓魚　黄魦　魦魚　今賀州浅野川多有之其声如二吉里一ト、夏秋人群集握餌撹水呼五里則魚多入掌中又棄、刈海山藍川多有此魚、皆一目也俗曰鎌ヲ倉景政洗眼川也

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号　寄別11-11

ガラス使用

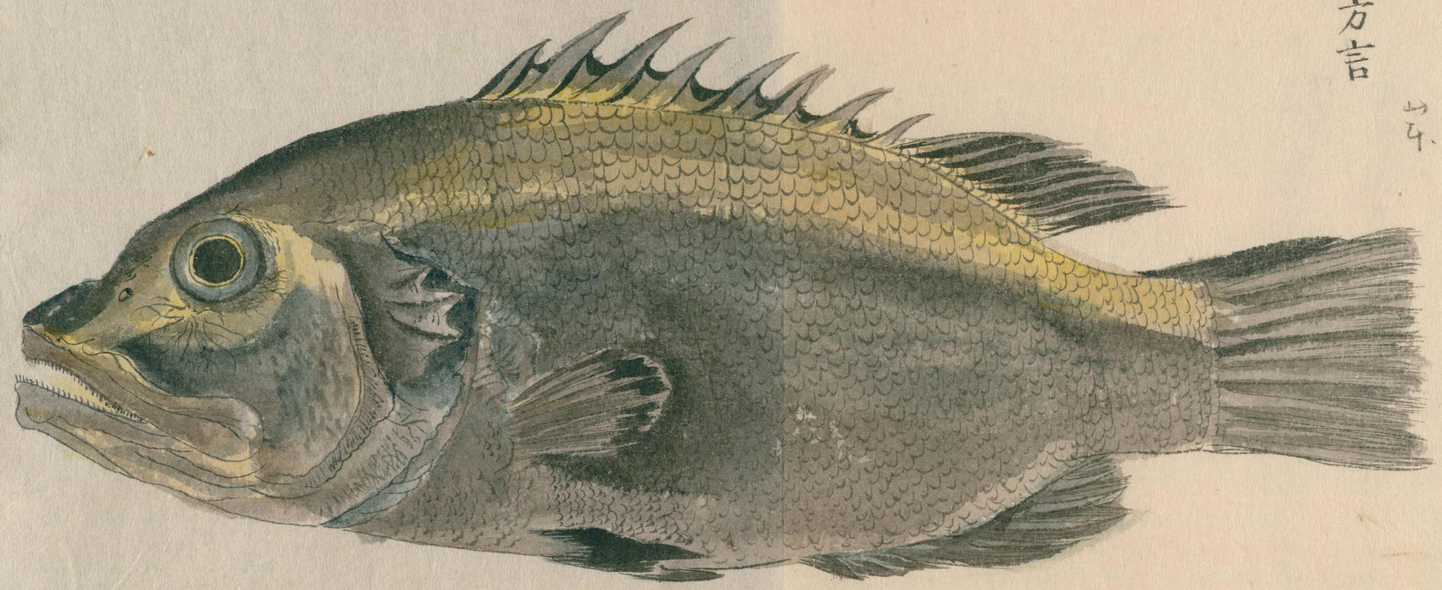
コタ子

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11

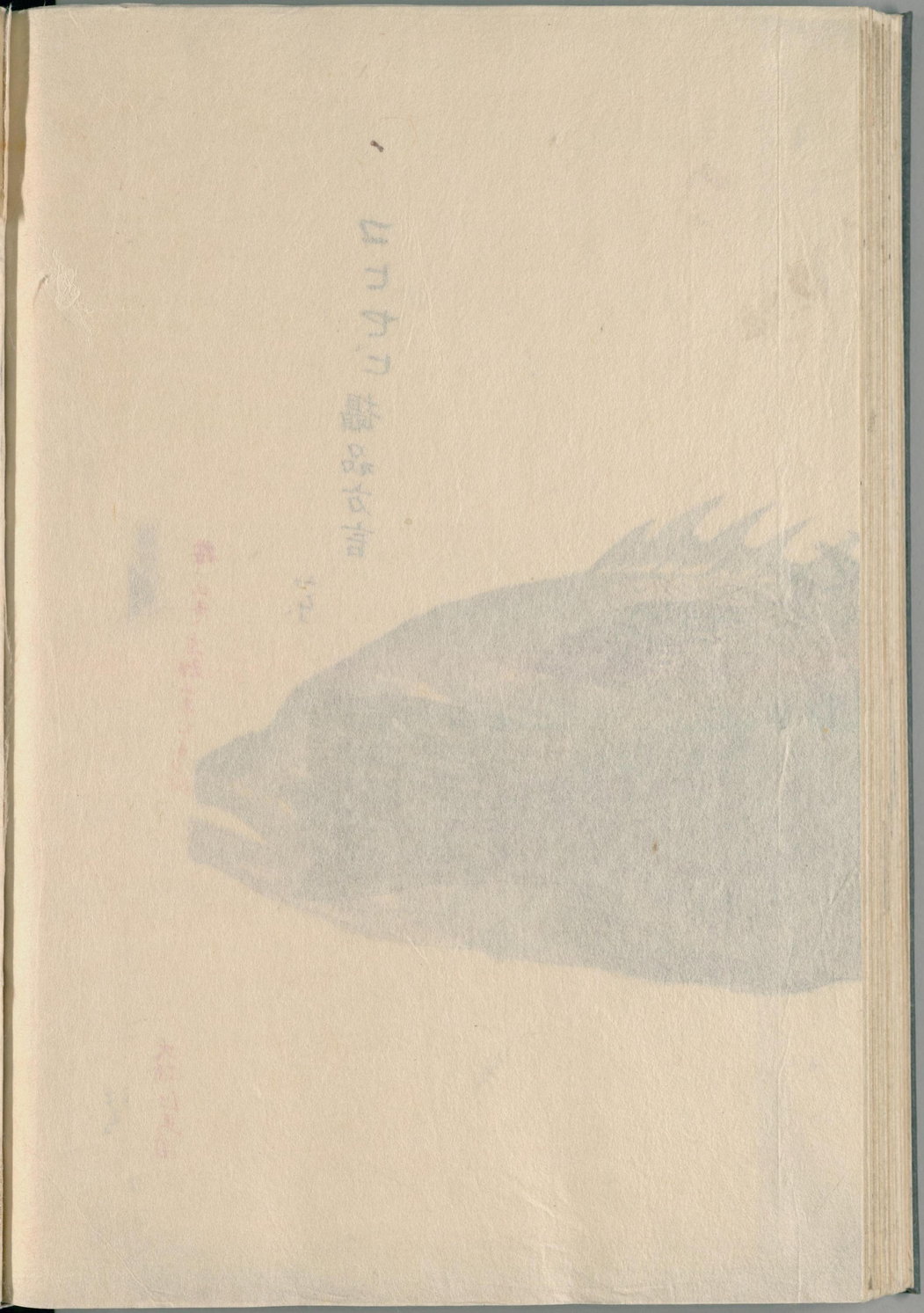
ガラス使用



コヒセビ攝刕方言

国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号　寄別11-11

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号　寄別11-11

ガラス使用

錦窠先生魚譜 古部ハ多年礼雑
篋底ニ入レアリシヲ曾テ錦窠魚
譜中ニ入レ以テ先生ノ遺稿ヲ保存セント
欲ス

昭和五年十月下
東京府荏原郡大崎町自宅ニテ
伊藤圭介識

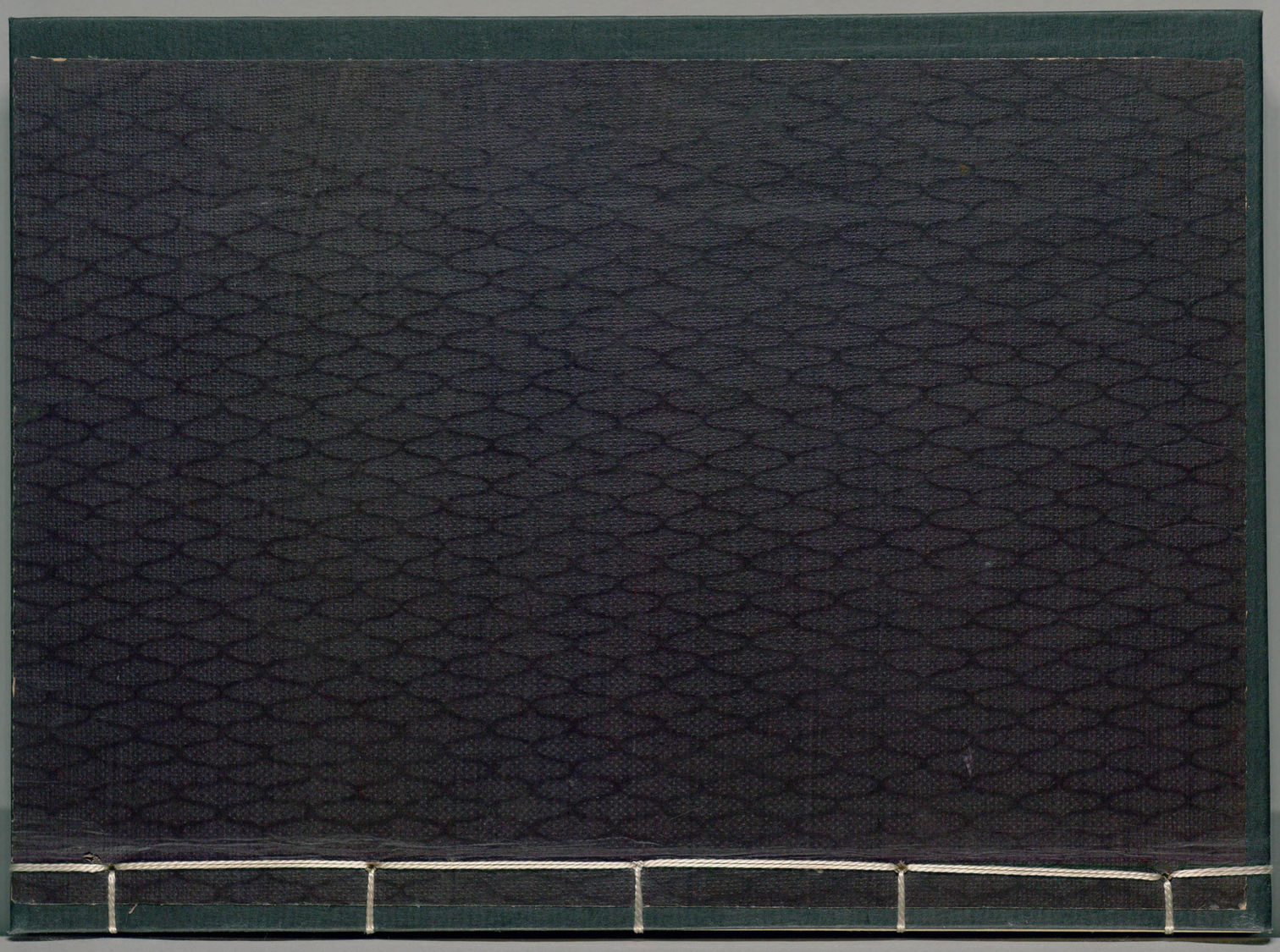
国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号 寄別11-11

ガラス使用

別11
11
(32)

国立国会図書館　　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号　寄別11-11

ガラス使用



ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『錦窠魚譜』　請求記号　寄別11-11